



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社ランドコンピュータ
コード番号 3924 URL <https://www.rand.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福島 嘉章
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 奥野 文俊
四半期報告書提出予定日 2023年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5232-3046

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,149	22.5	759	53.8	765	53.4	459	23.8
2022年3月期第3四半期	6,650		493		498		370	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 458百万円 (30.8%) 2022年3月期第3四半期 350百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	51.17	
2022年3月期第3四半期	41.31	

2021年10月1日付で普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たりの四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	6,838	4,551	66.6	507.02
2022年3月期	6,500	4,366	67.2	486.46

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,537百万円 2022年3月期 4,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		15.00		18.00	33.00
2023年3月期		14.00			
2023年3月期(予想)				17.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 1 2021年10月1日付で普通株式1株につき1.5株の株式分割を行っております。2022年3月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合には、2022年度3月期の年間配当額は28円00銭であります。

(注) 2 配当予想の修正につきましては、本日(2023年2月13日)公表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,450	19.3	1,110	27.2	1,120	27.4	690	10.0	76.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 業績予想の修正につきましては、本日(2023年2月13日)公表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社NESCO SUPER SOLUTION、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	8,983,950 株	2022年3月期	8,980,650 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	6,417 株	2022年3月期	4,317 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	8,976,998 株	2022年3月期3Q	8,979,597 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)2021年10月1日付で普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染対策と社会経済活動の正常化に向けたウィズコロナの新たな段階への移行が進められ、各種政策効果もあり、引き続き持ち直しの動きが見られました。一方で原材料・エネルギー価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、金融・為替市場の変動、物価上昇等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界においては、引き続きデジタル技術を活用したビジネスプロセスやビジネスモデルの変革を行うDX（デジタルトランスフォーメーション）やクラウドサービスの利活用等の投資需要が依然として強く、堅調な状況が続いております。またデジタル庁を中心とした行政のデジタル化推進、業務プロセスのデジタル化、レガシーシステムの刷新、クラウドシフトなど、中長期的には市場規模の拡大が期待されております。

このような環境のもと当社グループでは、4月より新たに子会社1社が加わり、2021年4月から2024年3月における中期経営計画「VISION2023」実現に向け、M&Aの推進、業務提携先との連携強化、DXビジネス推進、直ユーザ取引の拡大、得意分野の更なる強化に取り組み、企業価値の向上を目指してまいりました。また既存顧客とのパートナーシップの強化による領域の拡大及び顧客満足度の向上に努め、引き続きDX推進本部を中心とする新デジタル分野（クラウド、IoT、AI、ローコード開発）に対応した人材育成の強化に注力し、開発要員の採用強化及びパートナー企業との更なる連携強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,149,406千円（前年同四半期比22.5%増）となりました。利益面につきましては、産業・流通、公共、パッケージベースSI・サービスを中心とした増収効果があり、新たな子会社の取得費用及びのれんの償却額を141,599千円計上した結果、営業利益は759,558千円（前年同四半期比53.8%増）、経常利益765,480千円（前年同四半期比53.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は459,395千円（前年同四半期比23.8%増）となりました。当第3四半期連結累計期間においても引き続き売上高・利益ともに二桁増加率を達成しております。

事業のサービスライン別の業績を示すと次のとおりであります。

事業のサービスライン	売上高（千円）	前年同期比（%）
システムインテグレーション・サービス	4,489,322	113.1
インフラソリューション・サービス	887,479	111.4
パッケージベースSI・サービス	2,772,604	147.1
合計	8,149,406	122.5

（システムインテグレーション・サービス）

金融分野については、金融機関向けシステム開発案件において、大規模開発プロジェクトの収束による影響及びプロジェクトの延伸等により銀行分野の売上が4.6%減少しましたが、クレジットカード分野における統合案件等による売上が増加したことにより第3四半期連結会計期間から前年を上回りました。また、産業・流通分野については引き続き、エネルギー関連分野向け受託開発案件、流通分野向け基幹システム構築案件等の売上が増加、公共分野については昨年度から続いている大型プロジェクト案件受注による売上が増加したこと等により大きく伸長しております。この結果、システムインテグレーション・サービス全体の売上高は4,489,322千円（前年同四半期比13.1%増）となりました。

内訳を業種別に示すと、次のとおりであります。

業種別	売上高 (千円)	前年同期比 (%)
金融	1,945,725	100.6
(うち銀行)	1,037,238	95.4
(うち保険・証券)	167,984	84.7
(うちクレジットカード)	740,502	114.1
産業・流通	1,941,033	133.4
公共	266,416	135.7
医療	336,146	87.5
合計	4,489,322	113.1

(インフラソリューション・サービス)

第1四半期連結会計期間では前年比減少しておりましたが、DX推進の中心であるクラウド開発案件の受注が大きく増加し、また半導体不足の影響も緩和されてきており、基盤構築・導入案件の受注が増加したことにより、売上高は887,479千円(前年同四半期比11.4%増)となりました。

(パッケージベースS I・サービス)

当社におけるDX推進の中心であるクラウド分野のSalesforce関連の導入支援及びアドオン開発の全社展開における大型案件獲得等により売上が大きく増加しました。また子会社インフリー社での中心ビジネスであるSAP関連の導入支援及びアドオン開発の売上も大きく増加しております。さらに子会社NESCO SUPER SOLUTION社(2023年1月1日付で株式会社テクニゲートへ商号変更)が展開する会計パッケージの導入支援、保守及びアドオン開発等の売上が新たに加わった結果、パッケージベースS I・サービス全体の売上高は2,772,604千円(前年同四半期比47.1%増)と売上が大きく増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,838,967千円となり、前連結会計年度末と比較して338,886千円の増加となりました。これは主に、システム開発の進捗により仕掛金が202,744千円増加、前払費用が42,183千円増加、有形固定資産が41,800千円増加、無形固定資産におけるソフトウェアが36,599千円、のれんが468,739千円増加、差入保証金が24,971千円増加した一方、現金及び預金が49,003千円減少、売掛金及び契約資産が275,694千円減少、繰延税金資産が53,386千円減少、有価証券が100,000千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,287,158千円となり、前連結会計年度末と比較して153,729千円の増加となりました。これは主に、買掛金が66,886千円増加、短期借入金が150,000千円増加、未払金が60,830千円増加、未払費用が62,664千円増加、契約負債が143,963千円増加、預り金が103,172千円増加、退職給付に係る負債が32,028千円増加した一方、納税により未払法人税等及び未払消費税等が255,318千円減少、賞与引当金及び役員賞与引当金が144,318千円減少、株主優待引当金14,179千円減少、受注損失引当金52,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,551,808千円となり、前連結会計年度末と比較して185,157千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が172,131千円増加、非支配株主持分が13,913千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月13日に「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から修正を行っております。

詳細につきましては、本日（2023年2月13日）別途開示しております「通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,906,634	2,857,630
売掛金及び契約資産	2,428,477	2,152,783
有価証券	300,000	200,000
仕掛品	88,871	291,615
前払費用	99,572	141,756
その他	273	725
流動資産合計	5,823,830	5,644,510
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	36,665	65,363
工具、器具及び備品（純額）	28,239	41,342
有形固定資産合計	64,905	106,706
無形固定資産		
のれん	114,291	583,030
ソフトウェア	3,821	21,115
ソフトウェア仮勘定	—	19,305
商標権	3,237	6,641
無形固定資産合計	121,350	630,093
投資その他の資産		
投資有価証券	150,156	146,334
差入保証金	60,724	85,695
ゴルフ会員権	3,600	3,600
繰延税金資産	276,313	222,927
貸倒引当金	△800	△900
投資その他の資産合計	489,995	457,657
固定資産合計	676,250	1,194,456
資産合計	6,500,080	6,838,967

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	437,392	504,279
短期借入金	—	150,000
未払金	54,236	115,066
未払費用	105,255	167,919
未払法人税等	287,630	64,300
未払消費税等	119,385	87,397
契約負債	62,836	206,799
預り金	49,739	152,911
賞与引当金	378,351	236,833
役員賞与引当金	45,500	42,700
株主優待引当金	17,075	2,895
受注損失引当金	68,000	16,000
流動負債合計	1,625,402	1,747,104
固定負債		
長期末払金	100,000	100,000
退職給付に係る負債	408,026	440,054
固定負債合計	508,026	540,054
負債合計	2,133,429	2,287,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	458,499	460,063
資本剰余金	314,769	316,333
利益剰余金	3,527,761	3,699,893
自己株式	△3,459	△5,529
株主資本合計	4,297,571	4,470,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,442	71,879
退職給付に係る調整累計額	△7,362	△4,746
その他の包括利益累計額合計	69,079	67,133
非支配株主持分	—	13,913
純資産合計	4,366,651	4,551,808
負債純資産合計	6,500,080	6,838,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	6,650,680	8,149,406
売上原価	5,465,170	6,449,100
売上総利益	1,185,509	1,700,305
販売費及び一般管理費	691,683	940,747
営業利益	493,825	759,558
営業外収益		
受取利息	107	71
受取配当金	2,526	1,374
業務受託料	3,810	8,637
貸倒引当金戻入額	100	—
その他	1,294	935
営業外収益合計	7,838	11,018
営業外費用		
支払利息	399	595
固定資産除却損	2,379	4,392
貸倒引当金繰入額	—	100
その他	—	8
営業外費用合計	2,779	5,096
経常利益	498,885	765,480
特別利益		
投資有価証券売却益	59,856	—
特別利益合計	59,856	—
税金等調整前四半期純利益	558,741	765,480
法人税、住民税及び事業税	167,004	245,997
法人税等調整額	20,788	59,250
法人税等合計	187,792	305,247
四半期純利益	370,948	460,233
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	837
親会社株主に帰属する四半期純利益	370,948	459,395

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	370,948	460,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,854	△4,563
退職給付に係る調整額	1,320	2,616
その他の包括利益合計	△20,534	△1,946
四半期包括利益	350,413	458,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	350,413	457,448
非支配株主に係る四半期包括利益	—	837

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、株式会社NESCO SUPER SOLUTION(2023年1月1日付で株式会社テクニゲートへ社名変更)の株式を取得し子会社化したため、同社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、システムソリューションサービス（システムインテグレーション、インフラソリューション、パッケージベースS I）及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。